

第7期（平成25年度）活動報告
平成25年4月1日～平成26年3月31日

※1. 各事業の後尾に定款に定められた事業の項目を（定款㊟）と示している。

I. 委託事業

<p>1. あしや市民活動センター（以下、活動センター）の指定管理業務 市民活動施設の運営管理に関する事業</p> <p>(1) 会議室貸し出し業務（定款①） ・会議室A・B・C・Dを貸出し、平均稼働率40%であった。</p> <p>(2) セミナー事業（定款④） ・助成金が獲得できる申請書の書き方講座（7月13日参加者11名） ・学生向けボランティア養成講座（8月31日参加者11人） ・登録団体紹介映像づくり4回講座（10月5日～11月30日延べ55人）</p> <p>(3) 備品管理業務（定款①） ・印刷関連機器の貸し出しなどを行った。</p> <p>(4) 情報提供業務（定款②） ・活動センター内で、ラック・パネルなどを活用して団体情報の掲示 ・活動センター通信「かわらばん」を4回（5、8、12、3月）発行した。 ・ホームページで芦屋市の情報や、登録団体のイベント告知など情報公開を行った。</p> <p>(5) 活動センター利用者間のネットワーク支援事業としてティータイム交流会の開催（定款⑤） ・第6回市民活動フェスタボランティア説明&交流会（4月19日20人） ・施設ボランティアマッチング交流会（6月1日10人） ・紹介冊子完成交流会（7月12日26人） ・男性向けボランティア交流会（10月3日14人）</p> <p>(6) 相談業務（定款②） ・毎月第4火曜を定例の相談日として設定し、NPO法人の設立及び運営、自治会、行政、ボランティア活動、助成金など、市民活動に関する相談を定例日以外も行った。</p> <p>(7) 調査・研究事業（定款③） ・過去の相談をもとに調査分析した。</p> <p>(8) 第6回あしや市民活動フェスタ（定款⑤） ・6月1日に登録団体の発表の場として開催した。来場者数463人 ・当日の様子をDVD化し、参加団体および施設へ配布した。</p> <p>(9) 登録団体紹介冊子作成事業（定款⑤） ・昨年度から登録団体の代表と面談をし、ページ作成協働のもと7月に発行した。</p>	<p>【収益】</p> <p>予算 指定管理料 ¥16,500,000 会議室事業 ¥300,000 印刷機等事業 ¥1,500,000 セミナー事業 ¥30,000</p> <p>決算 指定管理料 ¥16,500,000 会議室事業 ¥639,605 印刷機等事業 ¥1,329,139 セミナー事業 ¥11,000</p> <p>【事業費】</p> <p>予算 人件費 ¥10,830,000 事業費 ¥5,200,000 光熱水費 ¥2,300,000</p> <p>決算 人件費 ¥10,963,963 事業費 ¥5,825,652 光熱水費 ¥1,681,044</p>
--	--

<p>(10) 市内中間支援団体交流事業（定款⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織の交流を目的とした会議を5月と6月にかけて当法人を含め8団体で3回開催した。 <p>(11) 他市からの視察（定款①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人の理事及び、自治会連合会役員とで以下4件受け入れた。 埼玉県八潮市（5月9日）、熊本県八代市（5月15日）、群馬県邑楽郡大泉町（10月30日）、栃木県那須塩原市（11月6日） 	
<p>2. 新あしや市民活動センターオープニングセレモニー事業（定款①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画課からの委託事業 ・招待状作成、記念品委託、セレモニーの協力を行った。 	<p>【収益】</p> <p>予算（2+3） ¥425,000</p> <p>決算</p>
<p>3. 新あしや市民活動センターパンフレット等の作成事業（定款①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター利用案内、三つ折りリーフレット等を新規に作成した。 	<p>2. ¥206,000</p> <p>3. ¥219,000</p>
<p>4. 地域のボランティアコーディネーター講座事業（定款④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画課からの委託事業 ・8月28日38人、11月18日22人、平成26年3月13日に3回開催した。 	<p>【収益】</p> <p>予算（4+5） ¥2,500,000</p> <p>決算</p>
<p>5. 地域の課題解決の仕組みづくり事業（定款⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画課からの委託事業 ・芦屋市自治会連合会ブロックを1単位とし、自治会が推薦したNPOと協働で市からと市民からの課題をそれぞれ協議した。 ・より理解を深めるため事前会議も開催した。 ・12月17日5ブロックを春日集会所で開催、46人参加 ・2月1日2Bブロックを大原集会所で開催、24人参加 ・2月13日4ブロックをウィザスあしやセミナー室で開催、33人参加 	<p>4. ¥938,805</p> <p>5. ¥1,141,035</p>
<p>6. 芦屋自治会連合会ホームページ作成および維持管理事業（定款⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市自治会連合会からの委託事業である。 ・会議、会報などの更新を随時行った。 	<p>【収益】</p> <p>予算 ¥120,000</p> <p>決算 ¥120,000</p>
<p>7. 県民交流広場アドバイザー事業（定款⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画課からの委託事業 ・芦屋市自治会連合会40周年誌作成のアドバイザーとして参画した。 	<p>【収益】</p> <p>予算 ¥175,000</p> <p>決算 ¥175,000</p>
<p>8. 芦屋市自治会連合会まちづくり懇談会事業（定款⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市自治会連合会からの委託業務 ・11月11日まちづくり懇談会の議事録を作成した。 	<p>【収益】</p> <p>予算 ¥30,000</p> <p>決算 ¥35,000</p>
<p>9. 芦屋市自治会連合会研修事業（定款⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市自治会連合会からの委託業務 ・3月12日自治会加入の広報についての講座を開催した。 	<p>【収益】</p> <p>決算 ¥18,000</p>

<p>10. 人事課特別研修（定款④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事課からの委託事業 ・3月13日一般職員向けホワイトボードミーティング講座を開催した。 ・3月18日課長級以上職員向け参画協働についての講座を開催した。 	<p>【収益】</p> <p>予算 ¥76,000</p> <p>決算 ¥76,000</p>
--	---

II. 自主事業

<p>1. 参画協働事業として、芦屋さくらまつり、秋まつりでのボランティアコーディネートを務めた。（定款⑦）</p>	
<p>2. 自主セミナー（定款④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマカフェを6月29日、8月17日、9月13日開催、述べ26人参加 ・NPOセミナー「事業報告書の書き方講座」を5月15日開催、7人参加 ・NPOセミナー「会計基準の講座」を12月7日西宮市民交流センターと協働開催、17人参加 	<p>【収益】</p> <p>決算 ¥10,300</p> <p>【事業費】</p> <p>決算 ¥19,994</p>
<p>3. 講師派遣事業（定款④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市民交流センター(5月25日) 何かをしたいという「思い」を「カタチ」にしてみませんか？ ・柏原市社会福祉協議会（7月26日） コミュニケーション（傾聴ボランティア）講座 ・神戸市社会福祉協議会(11月1日) 「ボランティア活動とは」～これからの活動にむけて～ 	<p>【収益】</p> <p>決算 ¥55,692</p> <p>【事業費】</p> <p>決算 ¥38,966</p>
<p>4. 他団体への後援・協力について（定款⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋音楽祭、社会を明るくする運動の協力 ・リレーフォーライフの後援 ・芦屋市障がい児・者作品展開催に協力 	
<p>5. あしやNPOセンター通信（定款②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月と26年1月に2回発行した。 	<p>【事業費】</p> <p>決算 ¥7,378</p>
<p>6. (特活) あしやNPOセンターのホームページ（定款②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作として1月からアップした。 	<p>【事業費】</p> <p>決算 ¥12,235</p>
<p>7. 阪神南中間支援センター連携交流会（定款⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市市民交流センター、生きがいサポートセンター阪神南 UN との連携を図った。 ・情報の共有、講座の協働を中心に協議を4回開催した。 	
<p>8. 芦屋市内指定管理者間会議（定款⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人体育協会（川西体育館）、NPO 法人国際交流協会（潮芦屋交流センター）との3者間の連携を図った。 ・情報の共有と指定管理者同士の連携を図るため26年2月に1回、会議を開催した。 	
<p>9. 芦屋さくらまつり縁日出店運営（定款④）</p>	<p>【収益】</p> <p>決算 ¥115,380</p>

・ 学生育成と、掃除ボランティアの交流を兼ねた出店運営を行った。	【事業費】 決算 ¥89,626
----------------------------------	---------------------

Ⅲ. 組織運営

<p>1. 会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正会員：個人会員 13 人／団体会員 8 団体 会費支払い状況は正会員 21 人・団体、内 20 人・団体 ・ 賛助会員：個人賛助会員 12 人 	<p>【収益】</p> <p>正会費 ¥200,000</p> <p>賛助会費 ¥14,000</p>
<p>2. 会議</p> <p>(1) 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 7 期通常総会を 5 月 18 日に開催した。 <p>(2) 理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回 平成 25 年 4 月 26 日 第 7 期通常総会の準備 ・ 第 2 回 平成 25 年 8 月 5 日 指定管理全般について ・ 第 3 回 平成 25 年 12 月 20 日 第 8 期事業計画について ・ 第 4 回 平成 26 年 3 月 27 日 第 8 期通常総会の準備 <p>(3) 事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月 1 回開き、毎朝申し送りを兼ねた朝礼を行った。 <p>(4) 指定管理者事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回、月初に開催。市民参画課と指定管理業務についての受託内容の確認を行った。 	<p>【事業費】</p> <p>理事会 予算 ¥50,000 決算 ¥48,000</p> <p>総会 予算 ¥50,000 決算 ¥13,000</p>

第7期活動報告詳細

【指定管理のセミナーに関する報告書】

●助成金が獲得できる申請書の書き方講座（指定管理セミナー）報告書

- 1 事業名：あしや市民活動センター指定管理業務
- 2 参加者：11名（10団体）
- 3 実施日：平成25年7月13日（土）13時30分～16時30分
- 4 担当：人羅
- 5 講師：奈良 雅美 氏（市民活動サポート&コンサルティング）
芦屋市企画部企画課 NPO法人M3rd
- 6 内容について
 - (1) 目的：身近な助成金の情報提供として、芦屋市の「あしや1.17フェニックス基金」と「きふして.net」についての説明と、獲得してもらうために実際に申請書を書いてもらい全員で検証をし、助成金を身近に感じてもらった。
 - (2) 検証：申請書を書くことで団体の基本方針を再確認でき問題点なども浮き彫りになった。
 - (3) 参加者感想：
 - ・他人の書類を見ると、伝わっていないことがよくわかった
 - ・助成金に合わせて企画を立てていたが、企画にあった助成金を探さなくては行けないと知った
 - ・思いを整理して、要点をまとめるのは難しい
 - ・一度挑戦してみようと思った
 - (4) 今後の対応：この講座を続けていく意義があると理解できた。



●学生向けボランティア養成講座「今日からボランティア」報告書

- 1 事業名：指定管理セミナー
「学生向けボランティア養成講座「今日からボランティア」」
- 2 参加者：11人（内訳 県立芦屋高校8人 講師1人 事務局2人）
- 3 実施日：平成25年8月31日（月）10時～12時20分
- 4 講師：講義 海士 美雪（ボランティアコーディネーター）
ワーク 人羅 亜矢子（(特活)あしやNPOセンター職員）
- 5 担当：橋野
- 6 内容について
 - (1) 目的：ボランティア活動への第一歩としての座学とイメージワークからなる若者の人材育成を目的とする。
 - (2) 検証：ボランティアの基本的と、具体的な内容を基にしたワークで出来ること、トライしてみたいことを見分けることができたようだ。
 - (3) 参加者感想：ワークをすることでハードルの高さなどを考えさせられた。
具体的に考えることが出来て良かった。
 - (4) ワーク内容：

問1. あなたは「さくらまつり」のボランティアを頼まれました。

あなたは何かができますか？したいですか？

検証：検討材料がチラシだけだったのにも関わらず、イベント全体の流れをイメージして細部まで気づいていることに感心した。また、当日の作業だけでなく、そのための準備が必要かどうか、他との調整が必要かという部分にも目を向けて考えながら、参加が可能かどうかを検討するということに気づいた。

問2. 今後、大人になったとき、社会の中で何ができる、何をしたいと思いますか。仕事も生活もある中で、どのような活動ができるのかを想像して下さい。

検証：難しい問いかけではあったが、非常に現実的な意見が出たということは、ボランティアに対する意識が高いことが伺われる。また、自分の住んでいる地域に対する関心が高く、地域参加に対する意欲がある学生が多いことに驚いた。後継者がいないことが大きな課題になっている自治会にとっては明るい材料である。

- (5) 今後の対応：地域とのつながりを考えている学生がいることがわかり、肉体労働的なボランティアもさることながら、話し合いの場でも若者の意見を出してもらえるようなものへご案内ができると感じた。今後も同様の講座を継続するとともに、世代間のワークにも期待が持てそうだ。



●登録団体紹介映像づくり講座（連続4回）報告書

1 事業名：指定管理セミナー

登録団体紹介映像づくり講座（連続4回）

2 参加者：述べ55人

- 3 実施日：第1回 平成25年10月5日（土）10時～15時
第2回 平成25年10月19日（土）10時～15時
第3回 平成25年11月16日（土）10時～17時
第4回 平成25年11月30日（土）10時～17時

4 講師：芦屋チャンネル（神吉氏 大谷氏 森口氏 松本氏）

5 担当：松好

6 内容について

- (1) 目的：参加団体間の親睦を深め、映像制作のスキルを身につける。
- (2) 検証：映像完成に至るまでの工程を学び、それぞれの団体が活動目的を再確認し、よりメッセージ性の強い紹介映像制作ができた。
今回の講座に興味を持って視聴された団体と芦屋チャンネルを繋げた。
- (3) 参加者感想：全てを団体で完成させたことが一番大きな成果である。
人に伝えようとするとき自分が何をすべきかを導き出せたことは、次に繋がることできる。
- (4) ワーク内容：第1回（ユーストリームを使って自己紹介）第2回（企画）第3回（テスト送信）第4回（発表）と4回連続開催し、最終日には他3団体に参加いただいた。
- (5) 今後の対応：今回の映像を視聴された方から、問合せや講座の希望があれば芦屋チャンネルに繋げていきたい。



【指定管理の活動センター利用者間のネットワーク支援事業に関する報告書】

●第6回市民活動フェスタボランティア説明&交流会

- 1 事業名：指定管理事業
- 2 参加者：20名
- 3 実施日：平成25年4月19日（金）13時30分～15時30分
- 4 担当：人羅
- 5 内容について

- (1) 目的：登録ボランティアの交流
- (2) 内容：市民活動フェスタの説明会と交流会
- (3) 検証：フェスタの運営について、事務局よりおおまかなスケジュールを伝えた後、各ブースの運営についてそれぞれアイデアを出しながら考えてもらった。参加者が、意見を共有していくことでイベントに対する意識が高まり、単に手伝いをするのではなく、主体的に関わるという気持ちが出来上がった。また、お互い意見交換をする中で、関係する団体が共同で運営する時間を設けたブースもあり、非常に有意義な交流会になった。
- (4) 今後の対応：今年度同様、フェスタにおける登録ボランティアの協力を仰ぎ、活動の場を広げていきたいと考える。



●施設ボランティアマッチング交流会

- 1 事業名：指定管理事業
- 2 参加者：10名
- 3 実施日：平成25年6月1日（土）10時～16時
- 4 担当：人羅
- 5 内容について

- (1) 目的：ボランティア団体と施設担当者の交流及びマッチング
- (2) 内容：市民活動フェスタに来場いただき、ボランティア団体の活動内容を見て、興味のある団体さんと交流を図ってもらう。
- (3) 検証：当日はかなりの混雑で、なかなか団体さんと直接交流はしてもらえなかったが、後日2件の問い合わせがあり、実際にマッチングが成立した。また、現在、フェスタ当日の様子をDVDに編集中であるので、それを配布予定
- (4) 今後の対応：当日のマッチングはもちろん、後日DVDを観ていただくことが有効であったので来年度も同様にしていきたいと考える。



●紹介冊子完成交流会

- 1 事業：(特活)あしやNPOセンター指定管理事業 ティータイム交流会

- 2 参加者：26名（17団体）
- 3 実施日：平成25年7月12日（金）13時00分～13時30分
- 4 担当：松好
- 6 内容について

- (1) 目的：紹介冊子披露配布に伴い交流会の場を設け団体間の交流を図り親睦を深める。
- (2) 検証：交流会の参加団体1団体5分程度の団体のPR発表を行い、4テーブルに分かれテーブルごとに情報交換を兼ねた交流を楽しんだ。参加団体について質疑応答を行った。
- (3) 参加者感想：
 - ・立派な冊子をいただけて嬉しかった。
 - ・普段会える事が少ない団体の方と交流会でお話できてよかった。
 - ・冊子をとおして、色々な団体の情報がわかるのでいい。
 - ・団体のPRがある事を事前に知らせてほしかった。
 - ・紹介冊子に団体の代表者名、団体所在地の記載がなかった。
- (4) 今後の対応：
 - ・当日のスケジュールは、チラシ、メール等に可能な範囲で記載する。
 - ・次回の冊子配布までに、団体の記載内容に、漏れや誤りがないよう情報収集する。



●男性向けボランティア交流会

- 1 事業名：指定管理ティータイム交流会 「男性向けボランティア交流会」
- 2 参加者：14人 内訳 男性参加者6人 登録団体 4団体3人 事務局4人
- 3 実施日：平成25年10月3日（木）13時～16時
- 4 講演：motto ひょうご事務局長 栗木 剛
- 5 担当：出口
- 6 内容について

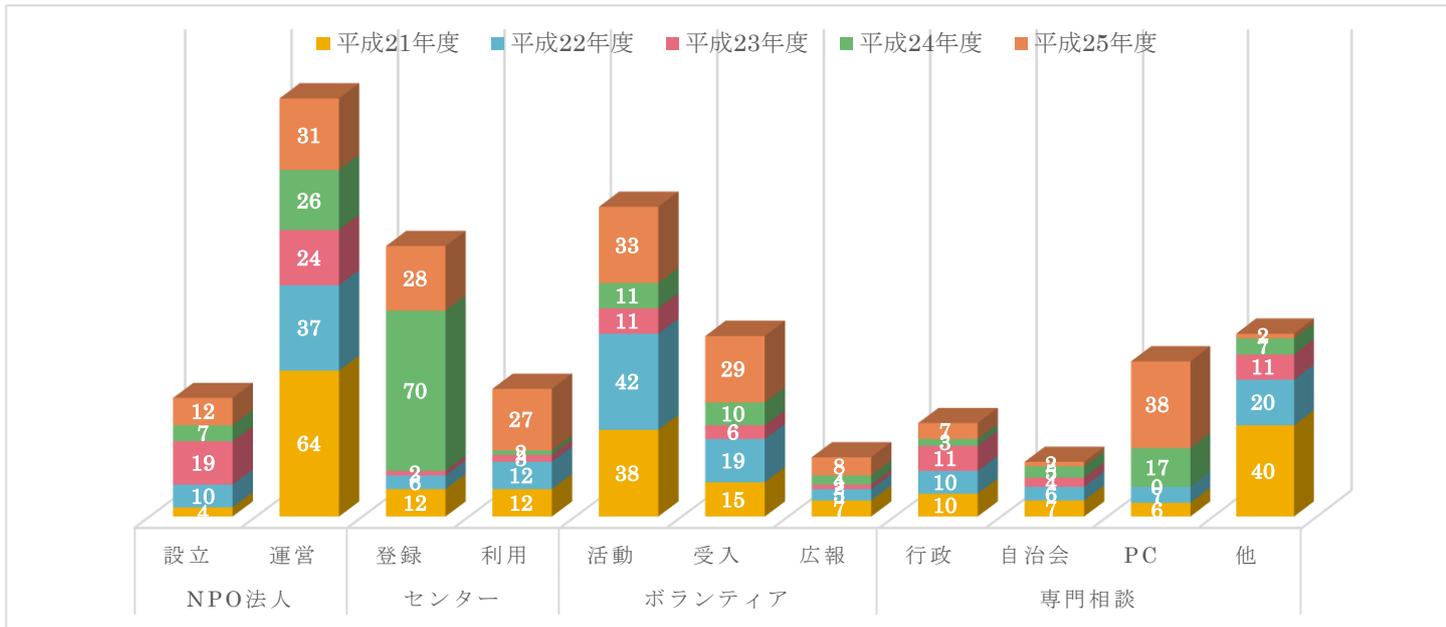


- (1) 目的：シニア男性のボランティアへのきっかけづくりと人材育成を目的とする。
- (2) 検証：「男性の趣味」「居場所づくり」が気が付けば、「ボランティア」に代わる方が、やりがいがあるということ聞き、ボランティアが身近なものに感じる事ができたようだ。
- (3) 実績：子ども会連絡協議会への見学1人・当センターボランティア登録1人
- (4) 参加者感想：ボランティアに参加しようと考えていたが、勇気も意欲もなかった。でも、今日の講演を聞いて気が楽になった。
今後も「男性」を意識した企画を続けてください。
- (5) 今後の対応：「趣味」からうまれるボランティアとして、今後は、男性が興味をもつテーマを検討し、「居場所づくり」から自然にボランティア活動に成長するような講座を継続していきたい。

【指定管理の相談業務における調査・研究事業】

芦屋市立あしや市民活動センター相談業務内容一覧

	NPO 法人		センター		ボランティア		広報	専門相談			他	合計
	設立	運営	登録	利用	活動	受入		行政	自治会	PC		
平成 21 年度	4	64	12	12	38	15	7	10	7	6	40	215
平成 22 年度	10	37	6	12	42	19	5	10	6	7	20	174
平成 23 年度	19	24	2	3	11	6	2	11	4	0	11	93
平成 24 年度	7	26	70	2	11	10	4	3	5	17	7	162
平成 25 年度	12	31	28	27	33	29	8	7	2	38	2	217
合計	52	182	118	56	135	79	26	41	24	68	80	861



【項目について】

NPO 法人：設立とは法人設立についての有無から書類申請まで

運営とは活動、会計などの運営方法から

毎年提出する申請書類の書き方まで

センター：登録とはあしや市民活動センターの登録

団体に関する全般

センターとは利用方法など

ボランティア：活動とは活動希望等、したい側の

相談受け入れとは施設等のボラン

ティアしてほしい人材を希望して

いる相談

広報：当センターのHP 掲載や、センター内掲

示芦屋市広報の掲示の方法など広報全

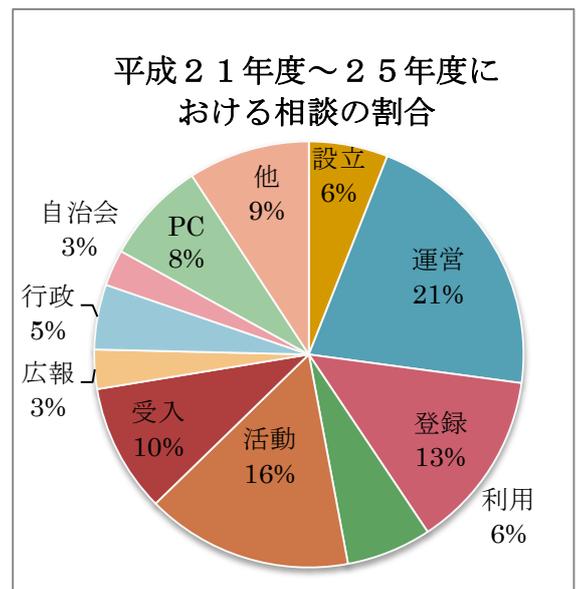
般

専門相談：行政とは市民からの窓口に対する問

合わせや芦屋市等からのご相談 自治

会とは自治会全般 PC とはパソコン全

般の相談



芦屋市立あしや市民活動センター相談業務の移り変わり

平成21年度～平成25年度

1. 相談事業の効果

概要：区分を下記の5つに分けている。

- ・NPO法人：法人設立と法人運営
- ・センター：あしや市民活動センターの登録団体に関するものと利用
- ・ボランティア：受け入れたい側と活動をしたい側
- ・広報：全般的な広報
- ・専門相談：行政、自治会、パソコン

実績：相談内容としては、NPO法人の運営がトップ、次にボランティア活動を希望するものが続く。

状況：21年度当初はNPO運営についての問い合わせが多かったが、近年は申請書、会計報告の作成方法などに特化している。

22年度はボランティアセンター開設ということで活動に関する問い合わせが上昇している。

23年度は東北地震があり、あらたに市民ボランティアが立ち上がった年であり、団体も立ち上がり、支援を行った。

24年度におけるセンター登録相談が増えているのは、登録団体冊子の作成準備の為に各団体との個別相談が多々あったためである。

25年度は活動センターの新装オープンに伴い、利用と団体登録に関するご相談が増大した。NPOの設立、運営に関する相談は例年を少し上回る程度で、毎週水曜日開催しているパソコン相談が増えてきている。

効果：NPOに関する相談は専門的なものが増え、団体の成長が見受けられる。センターに関する相談は効果的な利用が増えてきている。ボランティアに関する相談は施設とのマッチングが交流会などで繋がってきている。広報に関する相談はHP利用を推進する等、希望に添えるようになってきた。専門相談に関するものは、自治会関係は芦屋市自治会連合会と繋がりを持ち協働で承りまた、理事や関連団体の専門相談員と協力している。

2. 登録件数に関して

登録団体数は、26年3月末現在367団体である。

25年度登録団体紹介冊子を作成発行したことと、センターが新しくなったことで登録団体が増えた。

【指定管理における第6回あしや市民活動フェスタ】

- 1 事業名：あしや市民活動センター指定管理業務
- 2 参加者：来場者463名（内訳）出演団体170名・一般参加者265名・施設5名・来賓3名・ボランティア15名・スタッフ7名
- 3 実施日：平成25年6月1日（土）10時～16時
- 4 担当：人羅
- 5 内容について
 - (1) 目的：市民活動センター登録団体の活動を登録団体及び市民に知ってもらう
 1. 市民活動センター登録団体の活動発表
 2. 市民活動センター登録団体間の交流
 - (2) 検証：出演団体の人も他の団体の活動発表を観たり体験をしたりと、登録団体間の交流がたっぷりできていた。また、通常の活動では会うことのない幅広い人々の前で、発表ができたということが、今後の活動へのさらなる意欲をかき立てており、団体の活性化につながった。
 - (3) 参加者感想：アンケートは特に用意せずに、来場者にメッセージを残してもらった。また、出演者の方々とも、当日及び後日にご挨拶をさせていただくなかで、みなさんとても満足しているというコメントをたくさんいただいた。
 - (4) 今後の対応：来年度も継続実施してほしいという声が多かった。
他の事業との計画も鑑みて、フェスタが毎年エンターテイメント系の団体発表の場に絞り込めるのであれば、同様の形で開催を検討する。



【芦屋市からの事業受託】

●新あしや市民活動センターオープニングセレモニー

- 1 事業名：市民参画課委託業務
- 2 参加者：来場者105名
- 3 実施日：平成25年4月13日（土）10時～11時
- 4 担当：橋野
- 5 内容について
 - (1) 目的：新芦屋市立市民活動センターのお披露目
 - (2) 検証：議員及び登録団体等合わせて100名弱の方に実際に来館していただいたことで、センターの認知度が格段と上がった。
当日配布した、記念品はその後1週間の間来館者に配布した。
 - (3) 感想：式典終了後、コーヒーサービスを行ったことで、参加者相互の交流も深まり、また、新センターについても身近な存在としてとらえてもらうことができた。



●第5回地域のボランティアコーディネーター講座

- 1 事業名：市民参画課委託業務「自治会とともに…すみつづけたいまち」
- 2 参加者：38人（内訳 自治会14人 NPO13人 企業2人 市議会2人
行政3人 事務局4人）
- 3 実施日：平成25年8月26日（月）13時30分～16時
- 4 担当：橋野
- 5 内容について



- (1) 目的：芦屋の自助、公助、共助に必要なコーディネーター、ファシリテーターを育成する。今年度初は、自治連を中心にNPOがつながる仕組みを理解していただく。
- (2) 検証：芦屋市自治会連合会会長の具体的な講演と、市の仕組みづくりへの理想を受けて、賛否両論、話し合いが行えた。

(3) 参加者感想：

基調講演について

- ・自治会長は人の話をしっかり聞くことこまめに動くことが大事という話、肝に命じた。
- ・まちづくり懇談会の動き及び自治会連合会の三役会についてわかった。NPOの動きと自治会の動きについてもっと関係を深めよう。

「自治と協働のひろばづくり」について

- ・自治会が担い手不足という課題を抱えており、NPOとの協働のなかに課題解決の糸口を見つけていく、そのきっかけとして本講座があるとの事業説明は良く理解できました。簡単に目標達成できるわけではありませんので、今後継続していくこと、その内容は過去の講座の内容を踏まえたものであること、参加者には継続参加を強く勧める事、一定回数以上の参加者には「あしや地域コーディネーター」などの称号（ある種の資格）を与えること、市の行事にそのような称号者を活用することなど一案です。

「みんなで語ろう」について

- ・自治会について日ごろの不満、疑問を吐き出させてよかった。ボランティアコーディネーターをしている方々はたくさんいるということがよりわかって嬉しかった。
- ・地域によって、自治会によって、それぞれ事情は異なると考える。リーダー、コーディネーター、養成講座、他自治会の情報が必要だ。行政との協働が必要だ。

その他

- ・時間も内容もほどよいかんじだったと思います。
- ・自治会のニーズがあれば団体としていつでも協力できる。



- (4) 今後の対応：ボランティアとは、コーディネーターとは、ボランティアコーディネーターとは、芦屋市におけるボランティアコーディネーターの役割とは、昨年度だけでは浸透できていない部分を理解いただくためにも、継続で来ていただけるよう工夫していきたい。特に日ごろの疑問を吐き出し、話し合える場として定着できればと考える。



●第6回地域のボランティアコーディネーター講座

- 1 事業名：市民参画課委託業務 仮想会議（会議の進行って?）
- 2 参加者：22人（内訳 自治会7人 NPO8人 行政3人 事務局4人）
- 3 実施日：平成25年11月18日（月）13時30分～16時

4 担 当：橋野

5 内容について

- (1) 目的：芦屋の自助、公助、共助に必要なコーディネーター、ファシリテーターを育成する。今回の講座は、「地域ひろば」をイメージして効果的な会議の運営方法を考える。
- (2) 検証：「仮想会議」を通じて、コーディネーターの役割、会議の進め方、合意形成の仕方、また会議録による報告の仕方を検討した。自治会とNPOとのグループワークにより、お互いの活動の情報交換もできた。
- (3) 参加者感想
 - ・講座の題名、テーマ、内容がバラバラで何をしたいのかよく分からなかった。
 - ・NPOの役割、ボランティアとは、コーディネーターリーダーの役割等、とても勉強になりました。
 - ・自治会だよりを作成できる人材を探して、近いうちに実現したい。
 - ・自治会やいろいろな団体が市民のために熱心に活動されていることがわかった。
 - ・これからもまちを良くするために活動していきたい。
 - ・芦屋市で善意のネットワークが緩やかにつながっていけば、より、住みやすい街になると思った。
- (4) 今後の対応
会議の困ったを全面に出し共感を得ることで、会議の進行役がいかに大切かを知っていただく工夫が足りなかった。来年度は実践的なものを中心に人材育成に務めたい。

●第7回地域のボランティアコーディネーター講座

1 事業名：市民参画課委託業務

会議を楽しく元気にするホワイトボード・ミーティング技術を学ぼう

2 参加者：22人（内訳 自治会4人 NPO4人 行政12人 事務局2人）

3 実施日：平成26年3月13日（木）13時30分～16時

4 担 当：橋野

5 内容について

- (1) 目的：会議を行う際に一番問題となるのは意思の疎通ができていないということではないか。ホワイトボードというツールを使い、お互いの意見を聴き、尊重する事を学ぶ。
- (2) 検証：一人ずつがファシリテーターを経験し、聴くこと、文章化すること、伝えることの学びの場となった。
- (3) 参加者感想
 - ・各集会所でもこの講座があればよいと思った。
 - ・初めての講座であった、ポストイットを使つての会議より理解しやすく、機会に応じて活用したい。
 - ・案外聴いたことが書けなかった。
- (4) 今後の対応：今回はファシリテートについて学んだが、今年度から開催している地域ひろばをイメージして、地域の中で役割を担える人材育成のための学びの場を提供できるように工夫していきたい。



●地域の課題解決の仕組みづくり

- 1 事業名：市民参画課委託業務 地域ひろばを開催
- 2 参加者：述べ105人（内訳 自治会50人 NPO16人 行政26人 事務局13人）
- 3 実施日：5ブロック第1回 平成25年12月17日（火）10時～12時
2Bブロック第1回 平成26年2月1日（土）13時30分～16時30分
4ブロック第1回 平成26年2月13日（木）13時30分～15時30分
- 4 担当：橋野
- 5 内容について
 - (1) 目的：市民主体による地域課題解決の仕組みを作る。
 - (2) 検証：芦屋市自治連合会ブロックを1単位とし、ブロックを構成している自治会に推薦されたNPO団体との協議会を1地域ひろばとして開催された。市からの課題としては「災害時要援護者支援」についてであり、全市民の声を聞きたいということであった。市民からの課題としては2Bブロックの「居場所づくり」であった。身近ではあるが解決が難しい課題であったにも関わらず、前向きな意見を沢山いただいた。
 - (3) 参加者感想
 - ・地域ひろばを続けることは有意義であるが、似たような会議が沢山あり、どれが重要かわかりづらい。
 - ・議事録を作成し回覧していることにやる気があることを感じた。
 - ・隣近所と仲良くなることが一番大切である、仲良くなる方法を工夫しなければならない。
 - (4) 今後の対応
 - ・平成25年度開催の5、2B、4ブロック以外の各ブロック会を市からの「災害時要援護者支援」を課題に開催する。
 - ・全ブロックが終了したところで、「地域ひろば」の在り方についてのアンケート調査を行う。
 - ・アンケート調査を基に、ブロック理事、NPO団体（社会福祉協議会、PTA協議会）の各1名ずつと芦屋市自治会連合会三役会とで市民ひろばを開催し、課題の抽出等「地域ひろば」をどのように継続していくかを課題として開催する。
 - ・全ブロックの2回目を開催する。

【自主事業】

●参画協働事業

- 1 芦屋さくらまつりボランティアコーディネート事業
- 2 参加者：143名（14団体） ※数字は両日の延べ数
 - クラーク記念国際高等学校（40名） 芦屋市婦人会（10名）
 - 芦屋学園高等学校ボランティア部（13名） ふくの会（15名）
 - 県立芦屋高等学校ボランティア部（10名） 芦屋大学Aqua（22名）
 - 朝日ヶ丘町自治会自主防災会（7名） 尼崎信用金庫（6名）
 - あしやNPOセンター（10名） 個人（10名）
- 3 実施日：平成26年4月5日（土）・6日（日）8時00分～20時00分
- 4 担当：橋野、興津
- 5 内容について
 - (1) 目的：来場者にクリーンな会場でさくらまつりを楽しんでもらえるよう、清掃ボラ

ンティア活動のコーディネート及び清掃活動を行った。そのほか、運営協力として出演バンドの楽器・弁当運搬、臨時駐輪場の交通整理等のコーディネート及びボランティアを行った。

(2) 検証：個人から学校、婦人会、自治会などの地元団体に至るまで、市内外から多くのご参加があり、各々で熱心にご活動いただいた。

クラーク記念国際記念高等学校は学校行事の一環として参加いただいた。ボランティアテントを設けていただいたことで、ゴミ箱の設置場所、収集方法等の説明ができ、ボランティアの方との情報交換もできた。

ボランティア終了後、市からのお茶と、(特活)あしやNPOセンターから豚汁をふるまい喜ばれた。

昼食、夕食時ではボランティアが不足し、その他の時間帯では余剰感があった。次回は配分が上手くいくよう、募集時に活動時間を見直す必要がある。

ゴミ箱の分別表示が見にくかった。

ダンボール等、明らかに出店団体からのゴミと思われるものが出されていることがあった。ゴミ集積所に持っていくよう徹底して欲しい。

まつり終了のアナウンス後のゴミ撤収作業中に、ゴミ箱周辺にゴミを出される団体があった。

まつり終了後ゴミ集積所の分別が守られておらず、ボランティアで最後まで分別した。

(3) 今後の対応：お祭りならではのボランティア活動の付加価値を高めるために工夫
ボランティア受付テント内で豚汁を提供するなど交流スペースを設け、参加者間の交流が深まるような仕掛けをしたい。

特に学生ボランティアに対しては、指示的にならず、自分たちで考えて行動してもらうようなボランティアコーディネートを試みたい。

ゴミ箱の分別表示を立て札型にしたほうがよい。無機質なものではなく「分別ありがとうございます」など子どもたちにも書いてもらうのもよいかもしれない。

ゴミ箱に設置するゴミ袋はガムテープ止めより、クリップ止めにし、ゴミ袋の交換がよりスムーズに出来るような工夫が必要

出店団体のテント周辺のゴミは拾いにくいので、団体で処理するよう周知して欲しい。



(4) 参加者感想：

今回が初めての参加だったが、活動を通じて普段接点のない人たちと交流ができ、とても楽しかった。また参加したいと思う。

拾えるゴミがあまりなかった。(朝一番などの時間帯であったため)でも、客席を回るなど、ゴミを集める工夫をしながら活動できたのは楽しかった。

ゴミ箱の中が概ね綺麗

に分別されていた。芦屋市民のマナーの高さを感じることができ、嬉しかった。

幕間放送で、団体を紹介していただいたのが嬉しかった。



●テーマカフェ（第1回～第3回）

1 事業：(特活)あしやNPOセンター自主事業

2 参加者：延べ26名（6団体～9団体）

神戸パイロットクラブ・あんだん手・宇宙少年団六甲分団・Aqua・
芦っ子・芦屋まち活倶楽部・スペシャルオリンピックス芦屋・
芦屋川に魚を増やそう会・(特活)あしやNPOセンター

3 実施日：第1回 平成25年6月29日（土）13時30分～16時30分

第2回 平成25年8月17日（土）14時00分～16時00分

第3回 平成25年9月13日（土）14時00分～16時00分

4 担当：松好

5 内容について

(1) 目的：情報交換や協働できる事を議論し、団体間の交流を深める。

(2) 検証：隣の団体の活動を身近に感じ次の活動の協働のきっかけになった。

参加団体の現在の活動状況と今後の活動予定・要望を発表し、神戸パイロットクラブより10月に開催予定のパイロットウォークについて説明と協力要請があり、参加団体より賛同の声と企画の提案、意見交換を重ねた。

(3) 今後の対応：第4回以降のテーマカフェ開催は、新たな議題となるテーマを募り、参加団体を募集したうえで開催を決定し日時を確定する。



●NPO 講座 事業報告の書き方講座

1 事業名：(特活)あしやNPOセンター自主事業

2 参加者：一般参加7名（特活)あしやNPOセンタースタッフ2名

3 実施日：平成25年5月15日(水)13時～16時

4 担当：人羅

6 講師：村上 義弘 氏(生きがいしごとサポートセンター神戸東)

5 内容について

(1) 目的：毎年5月には事業報告書の相談が増えるので、まとめて説明をする。

また、このような講座を通じてNPOセンターや活動センターがNPO法人の運営支援を行っていることを市民や活動団体に知ってもらおう。NPOセンターのスタッフの研修も兼ねる。県に提出する事業報告書の目的手続き手順の説明。事業報告書作成のポイント。会計の変更点についての説明を行う。

(2) 参加者感想：事業報告書の基本は、市民への情報公開を目的として作る。



●NPO 講座 会計基準の講座

1 事業名：(特活)あしやNPOセンター自主事業（西宮市市民交流センターとの共催）

2 参加者：17名

3 実施日：平成25年12月7日（土）14時00分～16時30分

4 担当：人羅

5 講師：板谷 哲男 氏(NPO法人 にしのみやNPO協会)



6 内容について

- (1) 目的：①会計の基礎知識の確認
②会計基準が変わっているため、変更部分の周知。
- (2) 内容：活動計算書および貸借対照表の書き方についての説明及び注記の考え方と記載方法について
- (3) 参加者感想：概論についての説明がわかりやすかった。
注記については、もう少し具体例を出してもらえるとより分かりやすかったように思う。
- (4) 今後の対応：来春の報告書の作成時期には個別相談会を設け、注記を含めた活動計算書の考え方及び作成について対応をする。

●芦屋さくらまつり縁日出店

- 1 事業名：芦屋さくらまつり縁日出店運営
- 2 従事者：28名（NPOセンタースタッフ3名・ボランティアスタッフ25名）
- 3 実施日：平成26年4月4日（土）・5日（日）9時～20時
- 4 担当：人羅・出口
- 5 内容について

- (1) 目的：地域との連携および人材育成
 - ① 清掃ボランティア参加者との交流
 - ② 地域行事に参加することで、地域の人々と顔の見える関係を築き、事業の推進に役立てる。
 - ③ (特活) あしやNPOセンターのPR
 - ④ 学生ボランティア講座から連続した学生育成のための支援。



- (2) 内容：さくらまつりの縁日出店をする。
 - ① 清掃ボランティア参加者に対して、豚汁をふるまう。
 - ② ボランティア活動のPRをするとともに、地域の行事のなかで、地域の団体が気軽に交流できる「場」の提供を行う（「中間支援」の「見える化」）
 - ③ 当日のボランティアに地域の市民活動団体や地縁団体を巻き込み、顔の見える関係を築くことで、次年度に計画している事業の基盤をつくる
- (3) 効果：ボランティアとの交流ができた。
 - ① 気温が低い中の清掃活動で、温かい豚汁はとても喜ばれた。
 - ② ブースに足を運んでもらうことでVCOの担当スタッフだけでなく、ブース担当のスタッフとも交流ができ、清掃の様子について聞くことができた。
 - ③ 学生と協働したことで、(特活) あしやNPOセンターのPRもできた。
- (4) 今後の展望：来年度の出店に関しては要検討が必要。

今回の出店に関しては、ボランティアとの交流や(特活) あしやNPOセンターのPRを行うという目的は達成できた。また、地域の行事に参加することで、登録団体等リードあしやの利用者との交流も深まった。学生の育成についても、まだまだ課題は多いが実地体験を積むことでの手ごたえは感じる事ができた。

ボランティアへの振る舞いや学生育成が目的とはいえ、経費面での負荷が大きく、今後継続していくべき事業なのかは慎重に検討するべきである。学生に関しても、次年度の取り組みについては検討するように宿題をだしている。

第7期(平成25年度)活動計算書

(特活)あしやNPOセンター 平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	200,000		
賛助会員受取会費	14,000	214,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	30,000	30,000	
3. 事業収益			
あしや市民活動センター指定管理料	16,500,000		
会議室利用料	639,605		
印刷機等利用料	1,329,139		
セミナー参加料	11,000		
地域自治の仕組みづくり	1,141,035		
ボランティアコーディネーター講座	938,805		
芦屋市自治会連合会HP維持管理	120,000		
芦屋市自治会連合会まちづくり懇談会	35,000		
自治会連合会研修事業	18,000		
人事課特別研修	76,000		
県民交流事業	175,000		
オープニングセレモニー	425,000		
講師派遣	55,692		
自主セミナー	10,300		
芦屋さくらまつり	115,380	21,589,956	
4. その他収益			
受取利息	829		
その他収入	372,636		
雑収益	266,264	639,729	
経常収益計			22,473,685
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	10,965,470		
法定福利費	460,782		
福利厚生費	33,796		
ボランティア謝金	188,000		
通勤交通費	535,915		
人件費計		12,183,963	
(2)その他経費			
業務委託費	684,732		
講師謝金	670,111		
広告宣伝費	431,324		
通信運搬費	436,716		
活動交通費	51,500		
相談員謝金	42,000		
消耗什器備品費	983,636		
消耗品費	1,450,777		
水道光熱費	1,381,244		
新聞図書費	25,715		
支払手数料	37,614		
印刷製本費	2,070,775		
会場費	129,795		
賃借料	2,158		
リース料	658,817		
保険料	4,230		
租税公課	299,800		
研修費	10,100		

諸会費	13,000		
その他経費計		9,384,044	
事業費計			21,568,007
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	399,200		
福利厚生	576		
人件費計		399,776	
(2) その他経費			
広告宣伝費	66,500		
渉外費	34,175		
会議費	61,210		
通信運搬費	1,760		
活動交通費	5,200		
消耗品費	7,551		
新聞図書費	5,960		
支払手数料	1,715		
印刷製本費	2,437		
会場費	9,555		
租税公課	1,500		
諸会費	13,080		
その他経費計		210,643	
管理費計			610,419
経常費用計			22,178,426
III 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
固定資産除去		57,893	
経常外費用計			57,893
当期正味財産増減額			237,366
前期繰越正味財産額			3,951,940
次期繰越正味財産額			4,189,306

第7期(平成25年度)財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額			
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	39,917		
預金	三井住友銀行芦屋支店	3,542,060		
未収金	芦屋市市民参画課委託事業	2,544,850		
	さくらまつり収益	115,380		
流動資産合計			6,242,207	
資産合計				6,242,207
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	消耗什器備品費等	2,035,416		
預り金	源泉所得税・社会保険料 雇用保険料	17,485		
流動負債合計			2,052,901	
負債合計			-	2,052,901
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			3,951,940	
当期正味財産増減額			237,366	
正味財産合計				4,189,306

第7期(平成25年度)貸借対照表

平成26年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	39,917		
預金	3,542,060		
未収金	2,660,230		
流動資産合計		6,242,207	
資産合計			6,242,207
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,035,416		
預り金	17,485		
流動負債合計		2,052,901	
負債合計			2,052,901
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,951,940	
当期正味財産増減額		237,366	
正味財産合計			4,189,306
負債及び正味財産合計			4,189,306

計算書類の注記

事業所名: 特定非営利活動法人あしやNPOセンター

集計期間: 平成25年04月01日, 平成26年3月31日

勘定科目	予算	<指定管理>	<受託事業>	<自主事業>	<共通>	<合計>
I 経常収益						
正会員受取会費	¥250,000	0	0	0	200,000	200,000
賛助会員受取会費	¥50,000	0	0	0	14,000	14,000
受取寄附金	¥0	0	0	0	30,000	30,000
会費・寄付金計	¥300,000	0	0	0	244,000	244,000
指定管理料	¥16,500,000	16,500,000	0	0	0	16,500,000
会議室利用料	¥300,000	639,605	0	0	0	639,605
印刷機等利用料	¥1,500,000	1,329,139	0	0	0	1,329,139
セミナー参加料	¥30,000	11,000	0	0	0	11,000
指定管理計	¥18,330,000	18,479,744	0	0	0	18,479,744
地域自治の仕組みづくり	¥1,141,035	0	1,141,035	0	0	1,141,035
VOC講座	¥938,805	0	938,805	0	0	938,805
自治連HP維持管理	¥120,000	0	120,000	0	0	120,000
自治連まち懇	¥30,000	0	35,000	0	0	35,000
自治連研修	¥15,000	0	18,000	0	0	18,000
県民交流事業	¥175,000	0	175,000	0	0	175,000
オープニングセレモニー	¥425,000	0	425,000	0	0	425,000
人事課研修		0	76,000	0	0	76,000
受託事業計	¥2,844,840	0	2,928,840	0	0	2,928,840
講師派遣	¥250,000	0	0	55,692	0	55,692
自主セミナー	¥228,000	0	0	10,300	0	10,300
芦屋さくらまつり	¥50,000	0	0	115,380	0	115,380
自主事業計	¥528,000	0	0	181,372	0	181,372
受取利息	¥1,000	0	0	0	829	829
その他収入	¥0	0	0	0	372,636	372,636
雑収入	¥2,000	0	0	9,046	257,218	266,264
その他計	¥3,000	0	0	9,046	630,683	639,729
売上高合計	¥22,005,840	18,479,744	2,928,840	190,418	874,683	22,473,685
II 経常費用						
給料手当	¥10,630,000	9,774,470	1,191,000	0	399,200	11,364,670
法定福利費	¥550,000	460,782	0	0	0	460,782
福利厚生費	¥0	33,796	0	0	576	34,372
ボランティア謝金	¥670,000	159,000	29,000	0	0	188,000
通勤交通費	¥600,000	535,915	0	0	0	535,915
人件費計	¥12,450,000	10,963,963	1,220,000	0	399,776	12,583,739
業務委託費	¥705,000	328,232	356,500	0	0	684,732
講師謝金	¥510,000	229,600	387,085	53,426	0	670,111
広告宣伝費	¥150,000	431,324	0	0	66,500	497,824
渉外費	¥0	0	0	0	34,175	34,175
会議費	¥75,000	0	0	0	61,210	61,210
通信運搬費	¥1,214,000	404,606	30,430	1,680	1,760	438,476
活動交通費	¥137,000	44,760	5,200	1,540	5,200	56,700
相談員謝金	¥100,000	42,000	0	0	0	42,000
消耗什器備品費	¥500,000	983,636	0	0	0	983,636
消耗品費	¥970,000	1,171,594	249,457	29,726	7,551	1,458,328
水道光熱費	¥2,300,000	1,381,244	0	0	0	1,381,244
新聞図書費	¥10,000	25,715	0	0	5,960	31,675
支払手数料	¥14,000	34,044	3,570	0	1,715	39,329
印刷製本費	¥830,000	1,410,926	652,967	6,882	2,437	2,073,212
会場費	¥172,000	30,910	23,940	74,945	9,555	139,350
賃借料	¥0	2,158	0	0	0	2,158
リース料	¥1,400,000	658,817	0	0	0	658,817
保険料	¥10,000	4,230	0	0	0	4,230
租税公課	¥350,000	299,800	0	0	1,500	301,300
研修費	¥100,000	10,100	0	0	0	10,100
諸会費	¥20,000	13,000	0	0	13,080	26,080
減価償却費					57,893	57,893
事業費計	¥9,567,000	7,506,696	1,709,149	168,199	268,536	9,652,580
支出計	¥22,017,000	18,470,659	2,929,149	168,199	668,312	22,236,319
当期経費増減額						237,366